

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和8年1月14日（水）

### 2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアC（図1）

### 3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアCの状況

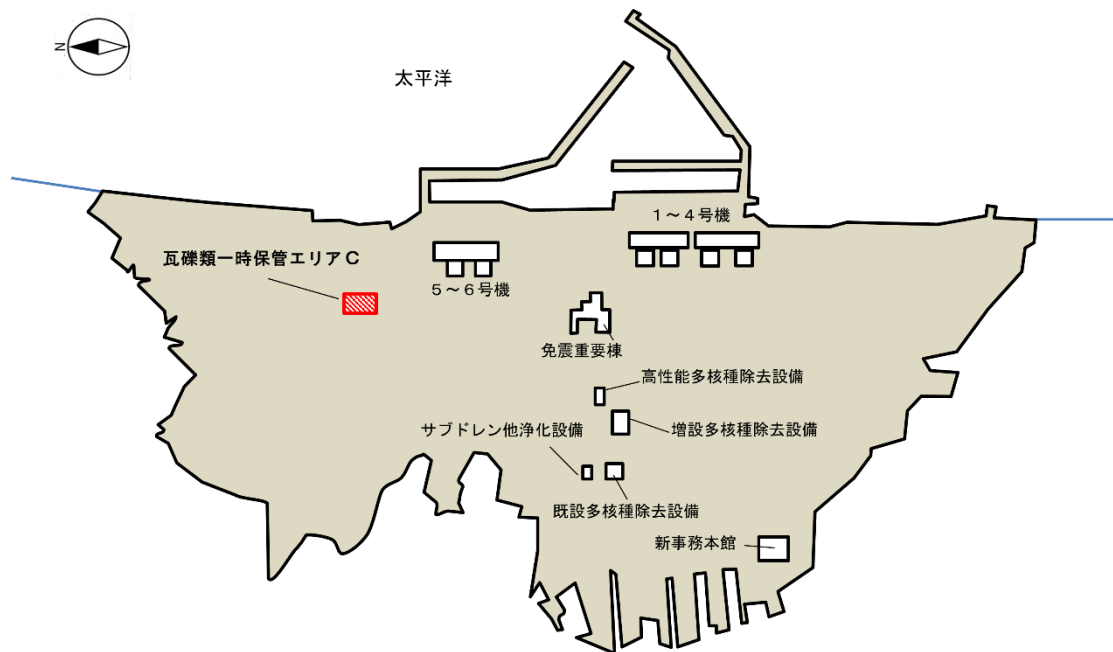
### 4 確認結果の概要

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」を達成するため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外一時保管エリアの解消作業を進めている。本日は、金属等の瓦礫類を遮水シートにより養生を施した一時保管エリアである瓦礫類一時保管エリアCの状況について確認するとともに、東京電力担当者から瓦礫類の取り出しに関する作業の進捗状況等について聴取した。（前回確認：[令和7年11月6日](#)）

- ・瓦礫類一時保管エリアCは第1～第4工区に分けられており、このうち第1工区及び第4工区において、瓦礫類の取り出しが進捗していた。（写真1）
- ・現場確認時には、瓦礫類の取り出し作業は行われておらず、全ての工区が遮水シートで覆われていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、遮水シートの損傷や瓦礫類のエリア外への飛散等は認められず、管理状態に問題のある箇所は確認されなかった。
- ・東京電力担当者から聴取した内容は以下のとおりである。

#### 【聴取内容】

- ・これまで試験的に第1工区及び第4工区において取り出し作業を行ってきた。現在は、本格的な取り出し作業の着手に向けた準備を進めている段階であり、作業は一時休止している。
- ・1月下旬頃から、瓦礫類の取り出し作業を第1～第4工区において、4工区同時進行で実施する計画としている。
- ・作業期間中は、散水等によりダストの飛散を抑制するとともに、作業エリアに連続ダストモニタを設置し、空気中の放射性物質濃度を連続監視しながら作業を進める計画である。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)  
瓦礫類一時保管エリア C の概観



(写真 1－2)  
第 4 工区の状況  
※手前の瓦礫類の取り出しが進捗している。



(写真 1－3)  
第 1 工区の状況  
※左の盛り土は、瓦礫類の撤去後に造成されたもの



(写真2)  
第2工区及び第3工区の状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。